



—— 生誕120周年 ——

シャガール版画展 展示 即売

●あす12日(水)→17日(月・祝) ●大丸サロン<4階> 10時→19時30分
<最終日は17時閉場>



サーカスの女

南フランスのニースにあるシャガール美術館は、
今もなお、絶えることのない彼のファンと陽の光に満ちあふれています。
その、愛情と色彩あふれる、シャガール芸術の一端を、
詩情ゆたかな版画作品でご紹介いたします。「生誕120周年」を迎える本年、
その軌跡をふり返る本展を、ぜひご覧くださいませ。



ブリュクセス將軍の夢



グリーティングカードM953



クロエの誘拐



グリーティングカードM954

同時開催

Roman Zakrewski

— 蘇る、優と美の旋律 — ロマン・ザクレスキー画伯初来日展



思う女性

「ユネスコ・世界遺産」の指定都市・クラクフ(ポーランド)から、ロマン画伯を招き、初来日展を開催いたします。会期中は画伯が全日来場し、お客さまのお越しを心よりお待ちしております。皆さま、お誘い合わせのうえ、ご来場ください。なお、お客様ご自身の肖像画製作も承ります。お気軽にご相談ください。



ロマン・ザクレスキー画伯が描く「芦屋の教会」も特別出品。

会期中、画伯が全日来場



画伯とモデルにもなっている奥様

Roman Zakrewski

(ロマン・ザクレスキー)

1955年、Oswiecim (アウシュビッツ) に生まれる。クラクフの芸術アカデミーにおいて、Jerzy Nowosielski教授に学ぶ。現在も、クラクフを、生活と創作活動の拠点とし、ポーランドの様々な都市や諸外国で個展を開催。多くの展覧会にも参加、出品。欧州の絵画史に受け継がれる、クラシック&モダンを「今」に体現し、脚光を浴びる画家。※クラクフ:ポーランドの南部、その王国が全盛期を誇っていた時代の同国の首都。1978年、街全体が「ユネスコの世界遺産」に指定。



赤い服の女性II



白い夏服の女性



赤い服の女性